



2019年3月期 第1四半期決算短信(IFRS)(連結)

2018年7月25日

上場会社名 株式会社アドバンテスト
 コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/investors>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 吉田 芳明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 藤田 敦司

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 2018年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	70,931	74.3	15,818	610.5	16,537	955.0	13,892	1,301.9	13,892	1,301.9	15,772	1,311.0
2018年3月期第1四半期	40,697	0.1	2,226	61.2	1,567	74.6	991	80.1	991	80.1	1,117	

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円銭		円銭	
2019年3月期第1四半期	76.99		70.17	
2018年3月期第1四半期	5.60		5.21	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	
2019年3月期第1四半期	271,793		142,536		142,536		52.4	
2018年3月期	254,559		124,610		124,610		49.0	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2018年3月期	円銭	円銭 9.00	円銭	円銭 23.00	円銭 32.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	230,000	11.0	34,500	40.9	34,760	43.2	27,800	53.6	27,800	53.6

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

詳細は、添付P.11「(5)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	199,566,770 株	2018年3月期	199,566,770 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2019年3月期1Q	17,172,473 株	2018年3月期	20,539,246 株
------------	--------------	----------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期1Q	180,438,062 株	2018年3月期1Q	177,012,805 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況.....	P. 2
(1) 経営成績の概況.....	P. 2
(2) 財政状態の概況.....	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し.....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記.....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書.....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書.....	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書.....	P. 9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	P. 10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(会計方針の変更)	P. 11
(セグメント情報)	P. 12
2018 年度第 1 四半期 決算(連結)の概要.....	P. 13

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年6月30日)の状況 (単位:億円)

	2018年3月期 第1四半期連結累計期間	2019年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	494	706	43.0%
売上高	407	709	74.3%
営業利益	22	158	7.1倍
税引前四半期利益	16	165	10.6倍
四半期利益	10	139	14.0倍

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、各国・地域間の貿易摩擦拡大が懸念されながらも全体として安定的な成長を遂げました。米国経済は堅調に推移し、欧州や日本における景気回復基調も維持されました。中国などの新興諸国においても、これまでの成長ペースが続きました。

半導体関連市場においても、全体として成長が続きました。データセンターの能力増強需要を背景としてサーバー用メモリの需要が旺盛であったほか、自動車・産業機器向けの半導体需要も堅調でした。また中国スマートフォンの高性能化と販売台数持ち直しを受け、スマートフォンに搭載される各種半導体の需要も改善しました。このような半導体市場の動向を背景に、半導体メーカーの設備投資への積極姿勢も維持されました。

当四半期の平均為替レートにつきましては、米ドルが108円(前年同期112円)、ユーロが131円(同121円)となりました。

これらの結果、受注高は706億円(前年同期比43.0%増)、売上高は709億円(同74.3%増)と、ともに前年同期から大きく伸びました。売上高が大きく増加する一方で販管費は緩やかな増加にとどまったことと、売上高における製品ミックスが好転したことで、営業利益は158億円(同7.1倍)となりました。税引前四半期利益は165億円(同10.6倍)、四半期利益は139億円(同14.0倍)となりました。海外売上比率は93.5%(前年同期91.1%)です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位:億円)

	2018年3月期 第1四半期連結累計期間	2019年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	316	536	69.4%
売上高	267	510	91.2%
セグメント利益	26	155	6.1倍

当部門では、中国スマートフォンの販売回復・高性能化を背景に、アプリケーション・プロセッサのテスト需要が伸びました。AI等に使われる、ハイエンド・ロジックICのテスト需要も伸びました。タッチセンサ組み込みなど、ディスプレイ・ドライバICの高機能化に即したテスト能力増強の動きも進みました。メモリ・テスト・システムでは、NANDフラッシュメモリの3次元化の進展に呼応したテスト能力拡大投資が行われたほか、サーバー用DRAM需要の伸びを反映し、高速DRAMテスト需要も増加しました。

以上により、当部門の受注高は536億円(前年同期比69.4%増)、売上高は510億円(同91.2%増)、セグメント利益は155億円(同6.1倍)となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位: 億円)

	2018年3月期 第1四半期連結累計期間	2019年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	108	94	△13.2%
売上高	72	111	54.1%
セグメント利益	△1	4	—

当部門では、メモリ・テスト・システムの需要が拡大するなか、メモリ・テストと事業関連性の高いデバイス・インタフェース製品やテスト・ハンドラ製品の需要が伸びました。一方で顧客の微細化投資スケジュールの兼ね合いから、ナノテクノロジー製品の新規商談に伸びを欠きました。

以上により、当部門の受注高は94億円（前年同期比13.2%減）、売上高は111億円（同54.1%増）、セグメント利益は4億円（同5億円改善）となりました。

<サービス他部門>

(単位: 億円)

	2018年3月期 第1四半期連結累計期間	2019年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	70	77	10.5%
売上高	69	89	29.5%
セグメント利益	7	19	170.2%

当部門では、半導体市場が全体として活況であるなか、当社製テスト・システムの保守サービスに対する需要が順調に推移しました。また、SSD（ソリッド・ステート・ドライブ）の普及が進展するなか、SSDテスト・システムへの需要が伸びました。

以上により、当部門の受注高は77億円（前年同期比10.5%増）、売上高は89億円（同29.5%増）、セグメント利益は19億円（同170.2%増）となりました。

(2) 財政状態の概況

当第1四半期末の総資産は、前年度末比172億円増加し、2,718億円となりました。この主な要因は、営業債権およびその他の債権が116億円、現金および現金同等物が25億円それぞれ増加したことなどによります。負債合計は、社債が株式への転換により52億円減少したこと、主に預り金の増加でその他金融負債が24億円増加したことにより、前年度末比7億円減少し、1,293億円となりました。また、資本合計は1,425億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比3.4ポイント増加し、52.4%となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第1四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より25億円増加し、1,064億円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益165億円を計上したことに加え、営業債権およびその他の債権の増加（△116億円）、前受金の増加（20億円）に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、65億円の収入（前年同期は、31億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、14億円の支出（前年同期は、2億円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得（△14億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、37億円の支出（前年同期は、162億円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払による支出（△39億円）によるものであります。

(4) 今後の見通し

2018年度の事業環境を展望しますと、S o Cテスト・システム市場では、A Iやブロックチェーンなどの新たなテクノロジーの広がりを中心に、ハイエンド・ロジック I C向けのテスト・システム投資が増加する見通しです。またスマートフォンの性能向上を受けて、アプリケーション・プロセッサや各種センサのテスト需要の伸びも見込まれます。ディスプレイ・ドライバ I C向けでも堅調な需要展開を予想しています。メモリ・テスト・システム市場では、より高速・大容量なメモリデバイスの生産拡大を背景に、高水準なテスト・システム投資が維持されると想定しています。

上述の通り、事業環境面では良好な展望を有していますが、保護主義的な通商政策の台頭・拡大懸念から、世界経済の先行きには足元不透明感が強まっています。かかる世界経済の情勢を踏まえ、通期連結業績予想については、売上高2,300億円、営業利益345億円、税引前利益348億円、当期利益278億円と、2018年4月に公表した内容を据え置きます。予想の前提とした為替レートも、米ドルが105円、ユーロが135円と変更ありません。

なお中長期的な半導体テスト市場の潮流に 대응するため、当社は2018年6月、半導体テスト・システム事業のグローバル統合を実施しました。これは、2018年4月に公表した10年ビジョン「グランドデザイン」で将来ありたい姿として掲げた、「テスト・測定ソリューションのNo.1プロバイダー」となるための基盤構築を企図したものです。当組織統合により、開発ノウハウを集約し、柔軟にリソース配分を行い、価値と競争力あるテスト・ソリューションを顧客に提供してまいります。

今後も各種成長施策を実行し、中長期ビジョンを達成・実現してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	103,973	106,444
営業債権およびその他の債権	37,929	49,514
棚卸資産	49,627	51,452
その他の流動資産	4,784	5,305
(小計)	196,313	212,715
売却目的で保有する資産	830	830
流動資産合計	197,143	213,545
非流動資産		
有形固定資産	29,232	29,115
のれんおよび無形資産	15,287	15,765
その他の金融資産	2,414	2,494
繰延税金資産	10,127	10,335
その他の非流動資産	356	539
非流動資産合計	57,416	58,248
資産合計	254,559	271,793

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年 3月31日)	当第1 四半期連結会計期間 (2018年 6月30日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	43,258	42,246
社債	29,872	24,701
未払法人所得税	4,247	4,476
引当金	3,042	3,387
その他の金融負債	554	2,945
その他の流動負債	6,224	8,268
流動負債合計	87,197	86,023
非流動負債		
退職給付に係る負債	40,353	40,403
繰延税金負債	1,099	1,517
その他の非流動負債	1,300	1,314
非流動負債合計	42,752	43,234
負債合計	129,949	129,257
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	43,466	43,348
自己株式	△ 77,724	△ 64,984
利益剰余金	125,204	128,628
その他の資本の構成要素	1,301	3,181
親会社の所有者に帰属する持分合計	124,610	142,536
資本合計	124,610	142,536
負債および資本合計	254,559	271,793

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

	(単位：百万円)	
	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2017年 4 月 1 日 至 2017年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 6 月 30 日)
売上高	40,697	70,931
売上原価	△ 20,117	△ 32,733
売上総利益	20,580	38,198
販売費および一般管理費	△ 18,415	△ 22,450
その他の収益	81	93
その他の費用	△ 20	△ 23
営業利益	2,226	15,818
金融収益	454	752
金融費用	△ 1,113	△ 33
税引前四半期利益	1,567	16,537
法人所得税費用	△ 576	△ 2,645
四半期利益	991	13,892
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	991	13,892
1 株当たり四半期利益		
基本的	5.60円	76.99円
希薄化後	5.21円	70.17円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期利益	991	13,892
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の公正価値の純変動	-	37
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	698	1,843
売却可能金融資産の公正価値の純変動	△ 572	-
税引後その他の包括利益	126	1,880
四半期包括利益	1,117	15,772
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,117	15,772

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2017年4月1日 残高	32,363	44,319	△ 86,039	113,676	5,198	109,517	109,517
四半期利益				991		991	991
その他の包括利益					126	126	126
四半期包括利益	-	-	-	991	126	1,117	1,117
自己株式の取得			△ 1			△ 1	△ 1
自己株式の処分		△ 216	2,033	△ 1,011		806	806
配当金				△ 2,122		△ 2,122	△ 2,122
所有者との取引額等合計	-	△ 216	2,032	△ 3,133	-	△ 1,317	△ 1,317
2017年6月30日 残高	32,363	44,103	△ 84,007	111,534	5,324	109,317	109,317

当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2018年4月1日 残高	32,363	43,466	△ 77,724	125,204	1,301	124,610	124,610
会計方針の変更の影響				788		788	788
修正再表示後期首残高	32,363	43,466	△ 77,724	125,992	1,301	125,398	125,398
四半期利益				13,892		13,892	13,892
その他の包括利益					1,880	1,880	1,880
四半期包括利益	-	-	-	13,892	1,880	15,772	15,772
自己株式の取得			△ 0			△ 0	△ 0
自己株式の処分		△ 57	594	△ 320		217	217
転換社債の転換		△ 125	12,146	△ 6,818		5,203	5,203
配当金				△ 4,118		△ 4,118	△ 4,118
株式に基づく報酬取引		64				64	64
所有者との取引額等合計	-	△ 118	12,740	△ 11,256	-	1,366	1,366
2018年6月30日 残高	32,363	43,348	△ 64,984	128,628	3,181	142,536	142,536

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,567	16,537
減価償却費および償却費	1,166	1,232
売却可能金融資産売却益	△ 349	-
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	2,314	△ 11,574
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 192	△ 1,855
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	△ 2,145	△ 853
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△ 18	346
預り金の増減額 (△は減少)	1,102	1,868
前受金の増減額 (△は減少)	872	2,040
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	581	437
その他	△ 1,098	602
小計	3,800	8,780
利息および配当金の受取額	110	187
利息の支払額	△ 48	△ 2
法人所得税の支払額	△ 800	△ 2,497
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	3,062	6,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
売却可能金融資産の売却による収入	851	-
有形固定資産の取得による支出	△ 556	△ 1,399
無形資産の取得による支出	△ 106	△ 59
その他	53	9
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	242	△ 1,449
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	811	217
社債の償還による支出	△ 15,000	-
配当金の支払額	△ 1,977	△ 3,943
その他	△ 4	0
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 16,170	△ 3,726
現金および現金同等物に係る換算差額	389	1,178
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△ 12,477	2,471
現金および現金同等物の期首残高	95,324	103,973
現金および現金同等物の四半期末残高	82,847	106,444

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRS第9号「金融商品」

当社は当第1四半期連結会計期間よりIFRS第9号「金融商品」を適用しております。この新しい基準書は従来のIAS第39号「金融商品：認識及び測定」を置き換えたものです。この基準は、金融商品の分類、認識および測定（減損を含む）に対応したものであり、新たなヘッジ会計のモデルを明示したものです。

この基準書の適用による当社の当第1四半期連結会計期間の業績および財政状態に与える影響はありません。

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」

当社は当第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

IFRS第15号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

IFRS第15号の適用に伴い、下記の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約の特定

ステップ2：履行義務（個別に会計処理すべき財又はサービス）の識別

ステップ3：取引価格（契約対価合計）の算定

ステップ4：取引価格の各履行義務への配分

ステップ5：各履行義務の充足時点又は充足に応じた収益の認識

その結果、設置作業を必要とする製品について、従来、設置作業が完了した時点で売上を計上しておりましたが、当基準書の適用により、製品の納入と設置作業が別個の履行義務として識別されるものについては、各履行義務が充足された時点で収益を認識しております。これにより、2019年3月期の期首利益剰余金が11億円増加しております。

また、当基準書の適用により一部サービスの履行義務の識別に差異が生じる結果、2019年3月期の期首利益剰余金が3億円減少しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の四半期要約連結損益計算書においては、当基準書の適用により、売上高が約17億円減少しております。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	26,657	7,188	6,852	—	40,697
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	26,657	7,188	6,852	—	40,697
セグメント利益(調整前営業利益)	2,558	△80	704	△956	2,226
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	2,226
金融収益	—	—	—	—	454
金融費用	—	—	—	—	△1,113
税引前四半期利益	—	—	—	—	1,567

当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	50,979	11,078	8,874	—	70,931
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	50,979	11,078	8,874	—	70,931
セグメント利益(調整前営業利益)	15,497	441	1,902	△1,958	15,882
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	△64
営業利益	—	—	—	—	15,818
金融収益	—	—	—	—	752
金融費用	—	—	—	—	△33
税引前四半期利益	—	—	—	—	16,537

- (注) 1. 当社グループは、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。
2. 報告セグメントの利益は、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をベースとしております。
3. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。
4. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2018年度第1四半期 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位:億円)

	2017年度実績				2018年度実績			2018年度業績予想	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比	前期比	通期	前年度比
受注高	494	562	568	854	706	43.0%	△17.3%	(2,200) 2,200	△11.2%
受注残	509	594	653	828	△30 795	56.2%	△4.0%	(728) 698	△15.7%

(注)1. 上段()の数値は、2018年4月26日発表時の予想であり、今回の予想も変更ありません。

2. IFRS15号適用に伴い、2018年度の期首受注残を△30億円調整しております。

2. 損益

(単位:億円)

	2017年度実績				2018年度実績			2018年度業績予想	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比	前期比	通期	前年度比
売上高	407	477	509	679	709	74.3%	4.4%	(2,300) 2,300	11.0%
売上原価	△201	△228	△277	△300	△327	62.7%	8.8%	-	-
販売費および一般管理費	△185	△201	△201	△239	△225	21.9%	△6.1%	-	-
その他の収益	1	4	2	1	1	14.8%	43.1%	-	-
その他の費用	△0	△0	△1	△2	△0	15.0%	△85.1%	-	-
営業利益 (売上高比率)	22 (5.5%)	52 (10.9%)	32 (6.4%)	139 (20.4%)	158 (22.3%)	7.1倍	14.3%	(345) 345 (15.0%)	40.9%
金融収益・金融費用	△6	△4	2	6	7	-	7.5%	-	-
税引前当期利益 (売上高比率)	16 (3.9%)	48 (10.1%)	34 (6.7%)	145 (21.4%)	165 (23.3%)	10.6倍	14.0%	(348) 348 (15.1%)	43.2%
法人所得税費用	△6	△9	△8	△39	△26	359.2%	△31.8%	-	-
当期利益 (売上高比率)	10 (2.4%)	39 (8.2%)	26 (5.0%)	106 (15.6%)	139 (19.6%)	14.0倍	30.7%	(278) 278 (12.1%)	53.6%

(注)上段()の数値は、2018年4月26日発表時の予想であり、今回の予想も変更ありません。

3. 財政状態

(単位:億円)

	2017年度実績				2018年度実績	
	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末	1Q末	前期比
総資産	2,175	2,287	2,344	2,546	2,718	6.8%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	1,093	1,139	1,172	1,246	1,425	14.4%
親会社所有者帰属持分比率	50.3%	49.8%	50.0%	49.0%	52.4%	-

4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2017年度実績			2018年度予想		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末	年間
1株当たり配当金	9.00	23.00	32.00	未定	未定	未定

(注)現時点では2018年度の配当については未定です。今後の業績等を勘案し、可能となった時点で速やかに開示する予定です。